



ロックウエル携帯用硬度計

米国アメス社製

概要

本機は、計測器や機械工具の製造に長年携わっている米国アメス・プレジジョン社製のロックウエル硬度計です。従来の固定式ロックウエル硬度計の特徴をそのままに、単位直読の携帯用硬度計として設計されております。

原理

ハンドホイールを回転させたときに起こるスクリーアクションにより圧子が被測定材に侵入し、この時被測定材の堅さによって生じる抵抗が荷重となって荷重指示ダイヤルに現れ、また圧子が被測定材に侵入する度合いが硬度指数となってマイクロメーター部の硬度表示ダイヤルに現れます。



有限会社今井精機

〒341-0033 埼玉県三郷市市助江戸川 816-2

TEL 048-953-8621/ FAX 048-953-8620

HomePage <http://www.imaitester.com>

E-mail imaitester@mbd.nifty.com

特徴

- 硬度測定にあたってサンプルの切り取りが必要でなく随時随所で使用できるので現場での硬度管理に最適です。
- 円筒材の内面または複雑な形状のものでも測定可能です。
- 操作が非常に簡単で初心者でも容易に使用でき、その上個人差がありません。
- 小型、軽量で携帯に便利です。また基礎台（特別付属品）を使用することにより研究室でのご使用、または多数の同一小物部品などの硬度測定が容易となります。



PORTABLE ROCKWELL HARDNESS TESTER

使用法

使用にあたっては、先ず被測定材の種類によってロックウエル・スケールより圧子と荷重を選び（焼入鋼等、比較的硬度の高いものにはダイヤモンド圧子と150kg荷重圧子を本体に取付けて）、アンビルと圧子間に被測定材を挟み、荷重指示ダイヤルをみながら指針がSET（10kg）上にくるまでハンドホイールを静かに回します。

次に硬度表示ダイヤルをピンが拡大レンズの上部に当たるようセットし、再びハンドホイールを回しながら規定の荷重をかけます。指針が規定の荷重を正確に示しているのを確認したらハンドホイールを逆に回し、荷重をSETに戻します。その時、硬度表示ダイヤル上に現れる数字を拡大レンズの中心線を通して読み取ります。この時使用する圧子がダイヤモンドの場合にはC目盛、鋼球の場合にはB目盛上の数字に各々スケールの符号を付し（例えばロックウエルC75、あるいはロックウエルB95など）硬度指数を表示いたします。

機種

アメス・ロックウエル携帯用硬度計には測定口径により以下の種類がございます。

Model 1	測定範囲：ロックウエルA、B、C、その他のスケール 測定厚 25mm×奥行 25mm 標準附属品：ダイヤモンド圧子、1/16”鋼球圧子、平型およびV型アンビル、アダプターおよび受台継手、硬度標準片3枚（硬2、軟1）、ロックウエル硬度換算表、ケース
Model 1-S	測定範囲：ロックウエルN、Tスケール 測定厚 25mm×奥行 25mm 標準附属品：Model 1に同じ。 本機はスーパーフィシヤル型で表面焼入鋼、薄物に用いられます
Model 1-4	測定範囲：ロックウエルA、B、C、その他のスケール 測定厚 25mm×奥行 100mm 標準附属品：Model 1に同じ。
Model 2	測定範囲：ロックウエルA、B、C、その他のスケール 測定厚 50mm×奥行 50mm 標準附属品：ダイヤモンド圧子、1/16”鋼球圧子、平型およびV型アンビル（平型1個、V型2個）、アダプターおよび受台継手（2個）、硬度標準片3枚（硬2、軟1）、ロックウエル硬度換算表、ケース。
Model 4-2	測定範囲：ロックウエルA、B、C、その他のスケール 測定厚 100mm×奥行 50mm 標準附属品：Model 2に同じ。
Model 4-4	測定範囲：ロックウエルA、B、C、その他のスケール 測定厚 100mm×奥行 100mm 標準附属品：Model 2に同じ。

※ 上記機種他に、Model 2-S、4-S、1-4-Sも用意しております。

※ 測定により、試験材に微小な圧痕がつきます。